

# 第3章 1 まちづくりのしくみ

みなさんが住んでいるまちは住みやすいですか？  
住みやすいまちはどのようにしてつくられるのでしょうか？  
住みやすいまちを、「都市計画」でつくりましょう。

## 都市計画ってなに？

まちにはおおぜいの人が集まります。みんなが自分勝手に建物を建てたりすると、まとまりがない住みにくいまちになってしまいます。より住みやすいまちをつくるために、守らなければいけないルールをみんなで決めることを都市計画といいます。



### 都市計画で決めること

まちに住むみんなの意見を聞きながら、まちが将来めざす方向を決めたものを「マスタープラン」といいます。都市計画は、この「マスタープラン」にもとづいて、大きく分けて次の三つのことを決めます。



### 1 土地の使い方・建物の建て方を決める

商店街のように人が集まる場所に工場があると、万が一事故がおきたときにたくさんのけが人がでるかもしれません。また、家のとなりに高いビルが建つと、日当たりが悪くなったりします。これらは、場所によって建てられる、家・工場・お店といった種類や、大きさを決めておけば防ぐことができます。

こうすることで、みんなが安心して、楽しく、生き生きと住みつづけられる快適なまちになります。



この図は、建てられる建物がわかるようにまちを色分けしたものだよ。

住むなら騒がしくない静かなところがいいな。

※この地図は、新潟市発行の都市計画図の一部を転載したものです。

### 2 まちに必要な施設を決める

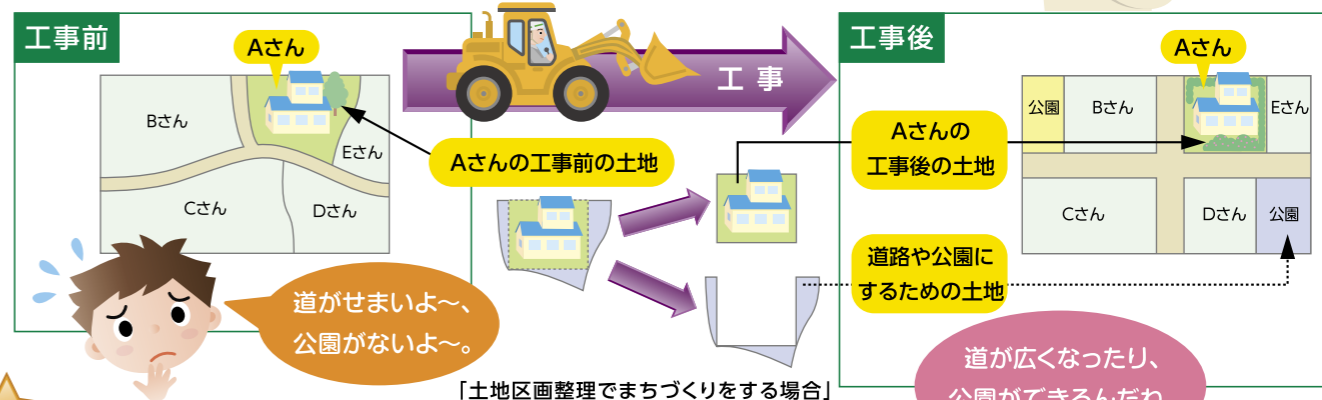


道路、公園、下水道など、まちに住むみんなが必要とする施設を、将来のまちのすがたをイメージして、どこに、どれだけのものをつくるかを決めます。これらは、まちの骨組みを形づくるものになります。

みんなが土地を出し合って、まちに必要なものをつくっているんだよ。

### 3 どうやって整理し、つくるかを決める

道がせまかったり、公園がないまちを住みやすくするため、たとえばみんなが土地を出し合うなどして、まちに必要なものをつくる場所を決めます。こうすることで道路や公園がつくられ、より良いまちになります。



### 都市計画まとめ

このように、都市計画は、マスタープランにもとづいてみなさんの意見を聞きながら、まちづくりのルールを決めることです。

### 豆知識

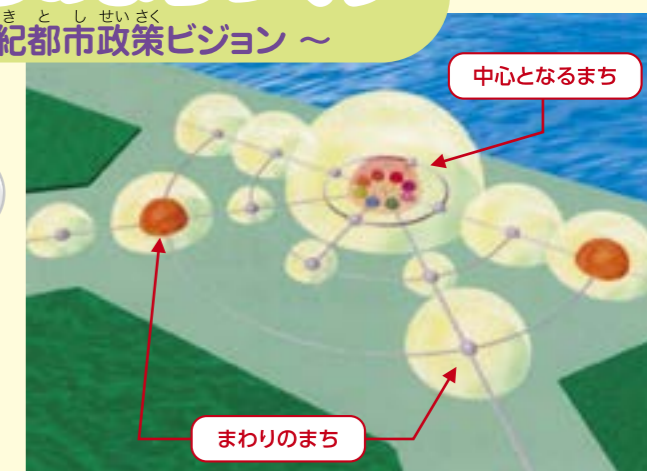
にいがたがめざす未来

## これからのまちづくり

～21世紀都市政策ビジョン～

### 「コンパクトな都市」をめざす

新潟県のめざす「コンパクトな都市」とは、緑の多い環境の中、歩いてくらせる範囲に家や学校、商店などがあり、となりのまちとバスや電車でつながっている都市。また、中心となる大きなまちとその周りのまちが役割を分担しながらつながっている都市のことです。



# 2 景観の良い美しいまちへ

「景観」は建物や自然などの景色を観る事です。  
「きれいだなあ」と思ったり、「なにか落ち着くなあ」と感じたり、見ている人を気持ち良くさせるのが、良い景観です。

## ① いろんな景観

**なつかしい景観** 柏崎市荻ノ島

かやぶきの屋根を大切に<sup>のこ</sup>残して、昔にタイムスリップしたようです。

**まちの景観** 南魚沼市牧之通り

住んでいる人たちが建物のルールを決めて、すてきなまちになりました。

**新しい景観** 新潟市やすらぎ堤

なだらかな堤防に芝が生えていて、いこいの場として親しまれています。

古くても良い景観は守り、悪い景観は直す。そして、新しく良い景観をつくっていくことが「美しいまち」につながります。

## ② 景観とまちづくり

村上では、市民が自分たちでブロック塀を黒塀にする取り組みが進められ、城下町らしい、落ち着いたまちになっています。このように、景観を美しくしようという取り組みが、いろんなところで行われていて、それが「まちづくり」につながっています。

村上の黒塀プロジェクト

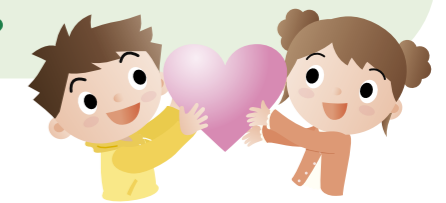
自分たちがどんなまちに住みたいか考えることが大事なんだよ。

みんなとってもすてきだね！

いろんな景観があるんだよ。

# 3 やさしいまちをつくる

だれもがくらしやすく、安らぎとぬくもりを感じる、人にやさしいまち。  
さまざまな生き物がすみ、草木や花があふれる、環境にやさしいまち。  
あなたはどんなまちがやさしいまちだと思いますか？



## ① まちなかの公共建築

学校や病院、公園の建物など、わたしたちのまちにはさまざまな公共建築があります。多くの人を使う公共建築は、安全で使いやすいことはもちろん、まちのシンボルとして、そして地域の人々が集まる場所として、みんなに親しまれる建物であることが求められます。



## ② ユニバーサルデザインへの取り組み

お年寄りや体の不自由な人だけでなく、すべての人が使いやすいように、まちやものをつくろうという考え方を、「ユニバーサルデザイン」といいます。ベビーシートや手すりを設置したトイレや、点字つきの案内板など、わたしたちのまちにはたくさん取り入れられています。



### ■ 思いやりと4つのキーワード

安全・安心 思いやり 柔軟 (さまざまな状況に対応できること) 快適 (気持ちよく使えること)



トキッキ豆知識 Made in 新潟 ユニバーサルデザイン

新潟生まれのみんなにやさしい新技術 「すべらない」「はまらない」側溝ふた ユニバーサルデザイングレーチング

道でよく見かける「鉄のふた」。ふつうのふたと何か違うってね。

**すべらない!** あみ目に凸凹(デコボコ)をつけているから、雨の日にもふたの上を歩いても、すべりにくくて安全です。

**あふない!**

**はまらない!** あみ目のかたちを四角形から三角形に変えて、タイヤなどを「はまりこみ」や「落ちこみ」から守ります。

**おっとっと!**

# 4 まちの緑と公園

土木では公園を整備したり、道路に木を植えたりして、まちに緑を増やす仕事をしています。わたしたちの生活で、まちの中にある緑や公園は、どんな役割をもっているのでしょうか。

## ● まちなかの緑

公園や街路樹などの緑は、日差しをさえぎり夏の暑さをやわらげてくれたり、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収してくれたりします。また緑がある風景は、住む人や見る人に安らぎを与えてくれます。



樹木が日差しをさえぎります(新潟市けやき通り)

O<sub>2</sub>

CO<sub>2</sub>

がいるじゅ 街路樹などの緑はわたしたちが生きていくのに必要な酸素をはき出してくれます。

私たちが生きていくうえで、緑はなくてはならないものなんだよ。

緑はとっても大切なんだね。

## ● 公園の役割

公園では、遊具や芝生の広場で遊んだり、たくさん木や花を楽しんだり、また、野球場やサッカー場などの広場で運動をしたり、さまざまな人がいろいろな目的で利用しています。



奥只見レクリエーション都市公園(花と緑と雪の里)



県立大潟水と森公園

公園があることによってまちなかの緑が増え、公園のきれいな花や木がまちを美しくいどり、人々の心をなごませてくれます。それに緑がたくさんあるので、動物や昆虫のすみかとなっています。

## 知っていますか?

### ● 公園のこんな機能

地震などの災害がおきたときは、公園の広場や駐車場が避難場所として利用されます。また、災害で困っている人々を助けるための基地としても利用されます。

平成16年中越大地震ではビッグスワンや駐車場が救助の基地になりました。



いざというとき、公園は避難場所になるんだよ。



屋根付き施設と広場

災害対応イス(スツール)

普段はイスなのに災害時にはトイレに変わるものもあります。

## ● みんなで公園を育てよう



地域のみなさんと花植えや草刈りをして公園を育てます(県立紫雲寺記念公園)

いろいろな役割をもっている公園をもっと良くするためには、公園を利用するみなさんの協力がとても大切です。みんなで草を刈ったり、花を植えたりして、大好きな公園を育てていきましょう。またルールを守って、みんなが気持ちよく使える公園にしましょう。



公園は地域のみなさんやボランティアの方々の活躍がとても重要なんだよ。

### トキッキ豆知識

#### 公園へ行こう

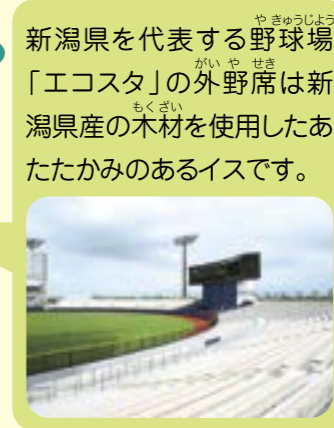


県立鳥屋野潟公園

新潟市中央区

鳥屋野潟周辺にあり、野球場やスタジアムなどに多くの人が集まり楽しめる場所となっています。

#### ♪ 県立公園へ行ってみよう♪



新潟県を代表する野球場「エコスタ」の外野席は新潟県産の木材を使用したあたたかみのあるイスです。



県立植物園

新潟市秋葉区

普段は見られないようなめずらしい熱帯植物や春夏秋冬1年中たくさんの花が見られます。

# 5 水を「再生」する下水道

「水」は飲み水として、また、トイレや風呂などで利用され、くらしの中で欠くことのできない非常に大切なものです。大切な水をこれからも使っていくために必要な「下水道」のしくみを見てみましょう。

## 水はどこから来てどこへ行くのか

### 水がわたしたちのくらしに届くまで

くらしの中で必要な水は、身近な川や湖の水をくみ上げ、これを浄水場できれいな水に浄化して利用しています。



わたしたちが普段、使っている水は川や湖から来ているんだね。

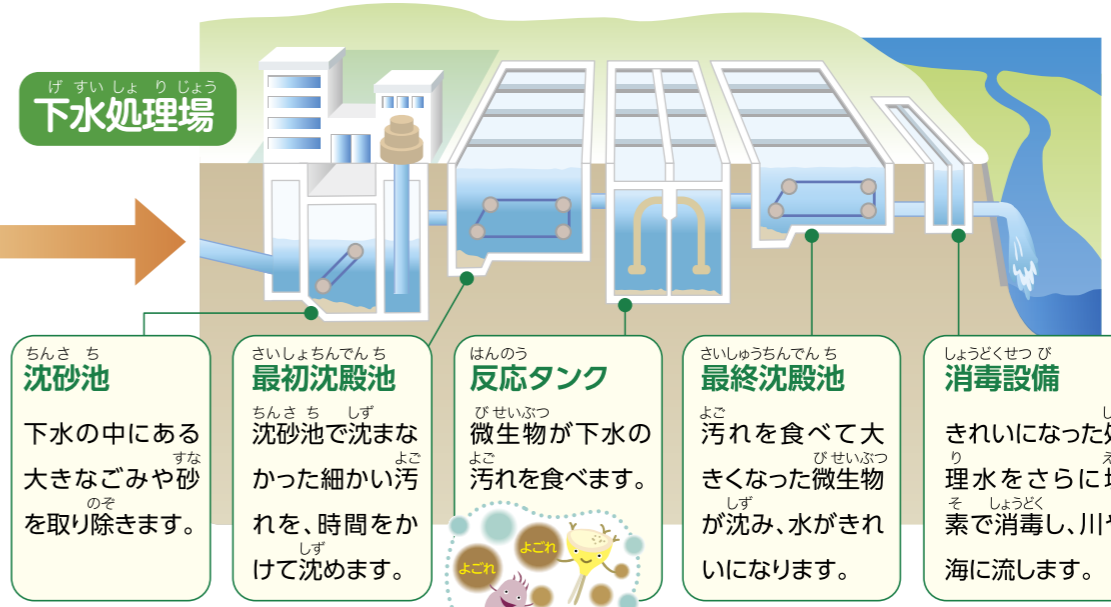
### 水のゆくえ

下水道がなかった時代、使われた水はそのまま川に流され、再びくらしのための水に使われていました。川が汚れると、わたしたちのくらしで使う水も汚れてしまいます。水は川や海などを通してわたしたちのくらしの中を循環しています。



## 下水道の役割・しくみ

下水道は水の浄化、循環の中で大きな役割を果たしています。トイレや風呂など生活で使った汚れた水は、地下の下水道管を通り、下水処理場に運ばれます。下水処理場で汚れた水をきれいに「再生」し、再び川などに流します。(汚れた水は、微生物と呼ばれる小さな生き物の働きなどで、きれいになっていきます。)



**トクキキ豆知識** なるほど! 水の再利用

水を再利用するだけじゃない **水以外の部分もリサイクル**

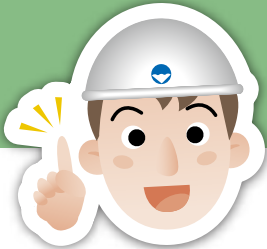
水をきれいになると、水以外の「汚泥」と呼ばれる、汚れや微生物のかたまりが発生します。汚泥は加工され、植物を育てる肥料やセメント原料、エネルギーなどに再利用されています!

## もし下水道がなかったら

- トイレがいつまでも水洗化できなくなります
- 汚い川では、遊びたくないですね
- 汚れた水が身近にあるくらしを想像してみよう  
においや虫など、気になりませんか
- 大雨で水がたまりやすくなり道路や家が水びたしになる危険性が高まります

# 住みやすいまちをつくる

## まとめ



### ● 住みやすいまちにするために

住みやすいまちとは、初めからあるものでも、誰かがつくってくれるものでもありません。どんなまちでも、川にゴミが捨てられていたり、歩道の真ん中に自転車が止められていたら、住みやすいまちとは言えませんよね。

みなさんがちょっと気をつけるだけで、大きく変わります。みんなで力を合わせて、もっと住みやすいまちをつくっていきましょう。

住みやすいまちを、  
みんなで作ろう。



ちょっとしたことが、  
住みやすいまちづくりに  
つながるんだね。



### まちの中のユニバーサルデザインを探そう

ユニバーサルデザインは、まちの中のいろんな所に生かされています。普段なにげなく使っている身の回りのユニバーサルデザインを探してみましょう。

使いやすそうだね。



舗装の色が違うので、  
歩道と車道の区別がつけやすくなっています。



車いすの人も近づいて、  
水を飲みやすいようになっています。



外国の人でもわかるように、  
案内がいろんな国の言葉で書いてあります。



### ボランティア活動に参加してみよう

みなさんの住むまちでも、地域の人の手で、道や川のゴミ拾い、草刈りや、花壇の手入れなど住みやすいまちにするためのボランティア活動が行われています。

自分の住むまちが、もっと住みやすくなるようにがんばっています。



みなさんも参加して、  
自分の手で住みやすいまちを  
つくってみましょう。

